

登米風土博覧会

LOOK

食べて、 見ても、 楽しんで、 3日間。

登米の「旨い」を、あなたが決める3日間。

4月28日から30日まで、

長沼フットピア公園（追）を会場に
登米風土博覧会が開催されました。

期間中、好天と桜の見頃が重なって
多くの人たちが訪れた風土博覧会。

おもてなしの笑顔とおいしい笑顔が満開となった
風土博覧会の様子を紹介します。（18〜19ページ）



会場には、自慢の商品をPRする元気な声が響いた

心とむ 桜のトンネル

みなみかた千本桜まつりを開催

南方町高石地区から梶沼地区まで続く約6kmの市道高石梶沼線と南方ナーシングホーム翔裕園の駐車場を会場に、4月21日から30日までの10日間、「みなみかた千本桜まつり」が開催されました。今年は、春先の天候不良により例年になく桜の開花が遅れましたが、ステージイベント開催日の28日あたりから見頃を迎え、家族連れなど多くの人々が訪れ、記念撮影や桜並木をドライブするなど、思い思いに幻想的な桜のトンネルを楽しんでいました。



▲満開で人々を迎える桜のトンネル

田植えって楽しいね

森小学校で学習田の田植え



▲泥んこになりながらも1株1株丁寧に植えていく子どもたち

食育と地域とのふれあいを目的とした田植え体験が5月9日に開催され、森小学校の5・6年生18人が参加しました。初めて経験する5年生は、泥から足が抜けなくて転びそうになりながら一生懸命に植えているのに対し、去年も経験のある6年生は、手慣れた様子で上手に植えていました。子どもたちからは「うまく植えることができた」「秋の収穫が楽しみ」といった感想が聞かれ、泥んこになりながら、楽しい時間を過ごしていました。

いざというときの応急処置

婦人防火クラブ石越支部応急処置講習会

石越総合支所において4月26日、婦人防火クラブ石越支部の「応急処置講習会」が開催され、クラブ員24人が参加しました。講習会には、市消防署北出張所の早川消防司令補を講師に招き、骨折したときの応急処置として家の中にある色々なものが役立つことや、防火用水としてお風呂のお湯をためたままにしておくなど指導を受けました。受講者は、普段疑問に思っていることを質問するなどして、どのような応急処置をすればいざというときに役立つのか熱心に聞いていました。



▲骨折した際の新聞を用いた応急処置を説明